

透析オンデマンドセミナー

ご自宅や病院、診療所などから、インターネットを通じて視聴いただけるセミナーです。

透析患者の認知機能低下との向き合い方

聖隷佐倉市民病院 総看護部長 **内田 明子** 先生

オンデマンド配信

配信
期間

▶ 2021年**9月16**日(木) 12:00~
9月30日(木) 12:00

講演
時間

▶ **30分**

抄録

日本の慢性透析患者の平均年齢は現在69歳。新規導入例では70歳であり¹⁾、高齢患者の増加は必然的に認知機能低下例の増加を意味する。

認知機能低下による行動は、援助する側にとっては問題行動に見えるが、患者本人の感情は豊かに保たれているが故に、かえって不安に感じたり大きなストレスに晒されている。

私たちの目標は、認知症患者が自分らしく生きいきと暮らしていくために支援することである。患者さんには、家族の介護力や社会資源を活用しながら、長年の習慣・生活を軸に、温かい人間関係の中で人として大切にされていると実感してもらいたい。支援においては、価値観や健康観、生活歴などを踏まえて、本人が望むこと、好むことを推定し、自らの意思を表明できるようなかわりが中心となる。認知症患者とのかかわりでは、本人の意思を尊重した治療や生活における「快」の探求が重要である。

1) 日本透析医学会.我が国の慢性透析両方の現況 (2019年12月31日現在)

本セミナーはオンデマンド配信となるためQAセッションはございません。

主催 株式会社三和化学研究所